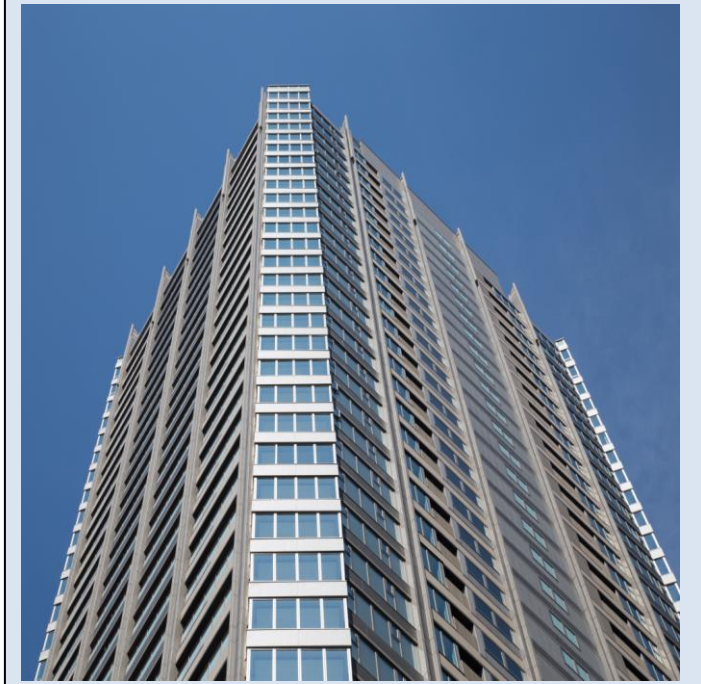


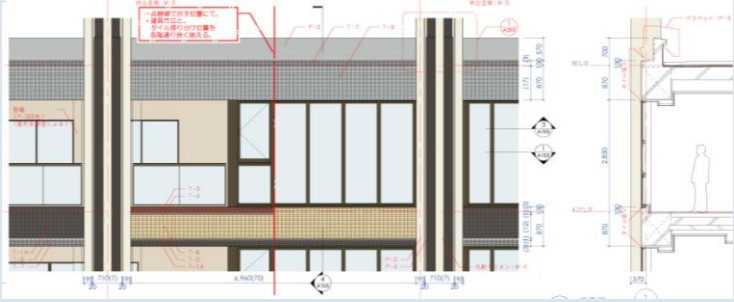
# 環境配慮事項とねらい

## 【1】 快適な居住環境への配慮

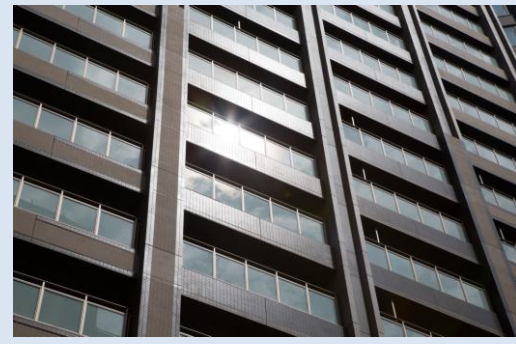
- ① 住宅性能温熱等級4を取得した断熱性。
- ② 遮音性T-2等級、断熱性・日射侵入に優れたLow-Eガラスを採用した開口部。
- ③ ブラインドと奥行1.95mのインナーバルコニーによる日射制御。
- ④ 十分な昼光率を確保するフルハイトサッシの採用。
- ⑤ 基準階 階高3.2mのゆとりある空間の実現。
- ⑥ ほぼ全面にF☆☆☆☆建材を採用し、シックハウスの配慮。



【1】 ②遮音性・断熱性に優れた開口部



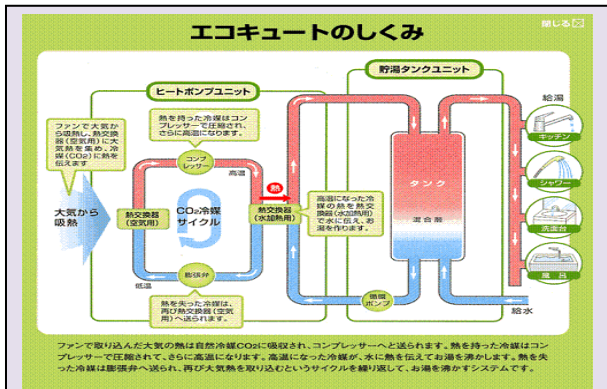
【1】 ④十分な昼光率を確保するフルハイトサッシ  
【1】 ⑤階高3.2mのゆとりある空間



【1】 ③日射制御に有効なバルコニー

## 【2】 省エネルギーへの配慮

- ① 住宅性能温熱等級4を取得した断熱性により、空調効率の向上。
- ② 全住戸をオール電化（エコキュート）を採用すると共に、燃焼機器の排熱を抑制。
- ③ 水栓には節水カラン、トイレには節水型便器を採用し、水資源の保護に配慮。



【2】 ②オール電化（エコキュート）の採用

## 【3】 快適性・信頼性への取り組み

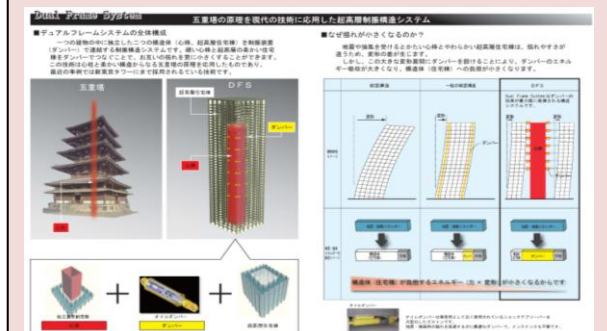
- ① 共用スペースの機能性・快適性を追求し総合的なデザインモックアップの実施。
- ② 内装デザインと一体的な照明計画の検討・実現。
- ③ 油圧ダンパーによる超高層制振構造システムの採用による災害時の安全を確保。
- ④ 構造躯体における住宅性能劣化対策等級3を取得し、継続的な品質を確保。



【3】 ①②快適性に配慮したエントランスホール



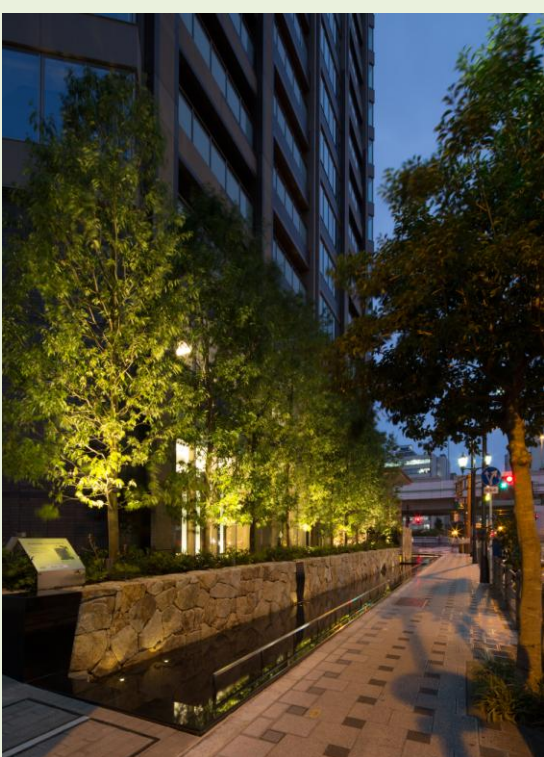
【3】 ②内装デザインと一体的な照明計画



【3】 ③ 超高層制振構造システムの採用

## 【4】 周辺環境への配慮

- ① 狭小敷地での最大限緑地を確保し、又風洞実験の実施検討による風環境悪化防止に努めた樹木配置、景観の形成。
- ② 周辺敷地温熱環境悪化への抑制に配慮した水景及び保水性舗装材を積極的に採用。
- ③ 大阪城等周辺の歴史的建造物を意識した石積み植栽帯・樹木・水景など街並みに潤いと調和を与える総合的なランドスケープデザイン。



【4】 ③水景・植栽による街並みへの調和



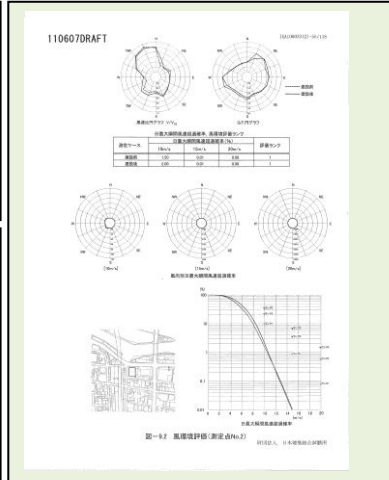
【4】 ③総合的なランドスケープデザイン



【4】 ①積極的な緑地の確保



【4】 ②保水性 ILB



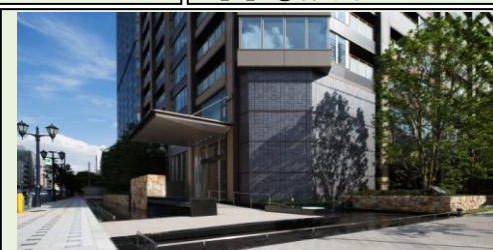
【4】 ①風洞実験実施



【4】 ①積極的な植栽計画



【4】 ②水景による潤いのある景観



【4】 ②水景のあるアプローチ

## 【5】 その他の配慮事項

- ① 適切な駐車台数の確保、十分なバイク置場・駐輪場の確保。
- ② ゴミドラム、ディスポージャーによるゴミの減容化、分別ストックスペースの設置。他



【5】 ①屋内駐輪場